



# 議会だより なおしま

2020  
No. 192  
令和2年7月10日

発行 ● 香川県直島町議会  
編集 ● 広報編集特別委員会  
電話 ● (087) 892-2297  
印刷 ● 山陽印刷(株)



(やっとみんなに会える。楽しみー)

- コロナ対策「常に情報共有を」(町長報告)..... 2P
- コロナ対策等町長に問う(一般質問)..... 6~9P
- 議会から要望書提出(議員協議会)..... 10P
- 未来の明るい活気ある直島を願う(傍聴記)..... 11P
- 毎日が濃厚すぎて(がんばりよるで)..... 12P



小林町長

国会終了後に報告

# コロナ対策 常に情報共有を

(主なもの)

- 3月3日 直島製錬所松谷所長他が来庁され、豊島プラント跡の建物内に鉱業技術研究所を設置するとの報告がありました。
- 3月19日 漁業協同組合の総会に県木村環境森林部長と訪問し、豊島廃棄物処理事業のお礼を申し上げました。
- 3月31日 瀬戸内国際芸術祭県実行委員会総会が、かがわ国際会議場で開催され、次回2022年に芸術祭を開催することが確認されました。
- 4月7日 町民体育祭実行委員会総会が開催され、コロナ感染防止のため中止することが決定されました。
- 4月16日 町議会議長及び副議長より議会からのコロナ感染症対策の要望書が提出され、これを受理しました。
- 4月21日 浜田県知事が豊島廃棄物処理事業の終了に伴い来庁され、同時に製錬所・漁業組合にもお礼に来られました。
- 5月13日 特別定額給付金の申請受付を開始しました。6月2日現在、94.7%の町民から申請が出ています。
- 5月13日 夏まつり実行委員会が開催され、今年はコロナ感染防止のため中止を決定しました。
- 5月20日 火まつり実行委員会が開催され、夏まつりと同様にコロナ感染防止のため中止となりました。

## 主な質疑

### 報告会の内容は

**Q** (山下) 診療所委員会等活動報告会とあるが、この報告会の内容は。

**A** (町長) 各委員会を作って、医師・看護師を交えて勉強し、それぞれの委員会活動の報告を受けている。

### 今後の経営の方針は

**Q** (西岡) 観光協会臨時総会、臨時理事会で今後の経営をどのように立て直していくのか。

**A** (町長) 持続化給付金も申請している。職員の全員で一生懸命協力していきたい。



町長報告

## 要望書の回答は

**Q** (浜口) 4月16日に提出した議会からの要望書の回答がまだにない。常に情報共有の体制整備をするよう要望しているが。

**A** (町長) もし聞きたい部分があれば役場へ来ていただいて、お聞き願いたいと思っている。

**Q** (浜口) 議員が個別に町長のところに行くんじゃないに、説明の場を作るようにしてほしい。

**A** (町長) 町長でなくとも、担当課長のところでお聞き願えたらありがたい。

**Q** (浜口) 町長から議員協議会を開いてくれと申し出があれば、議員は賛成すると思いが。

**A** (町長) 国会が終了した時点で、議会に報告させていただく。

## 町からの要望は

**Q** (小野) 2022年度に芸術祭の開催を決めたところだが、町から何か要望したのか。

**A** (町長) 県実行委員会会の総会だが、細かい話が全然決まっていない。次回の総会で日程等決まっていこうと思う。

## 構想はあるか

**Q** (小野) 火まつりが中止になり寂しい限りだ。来年度は盛大に花火を上げたいと思うが、何か催しとか構想を考えているか。

**A** (町長) 担当課やいろんな方の意見を伺いながら進めていくので、楽しみにお待ちいただきたい。



来年を楽しみに



鳴井教育長

しっかり  
整えている

# 学校再開に向けた 対応は

(主なもの)

- 3月13日 中学校卒業証書授与式が新型コロナウイルス感染症予防のため、卒業生（13人）と保護者、教職員だけで挙行されました。
- 3月16日 小学校卒業証書授与式が卒業生（19人）と保護者、教職員だけで挙行されました。
- 3月17日 幼児学園修了証書授与式が卒園児（15人）と保護者、教職員だけで挙行されました。
- 4月7日 町民体育祭実行委員会総会が開催され、今年度の開催について中止を決定しました。
- 4月8日 中学校の入学式が新入生（22人）と保護者、教職員だけで挙行されました。
- 4月9日 小学校の入学式が新入生（15人）と保護者、教職員だけで挙行されました。
- 4月10日 幼児学園の入園式が3歳児クラス入園児（27人）と保護者、教職員だけで挙行されました。
- 4月14日 幼児学園の園庭にこいのぼりを掲揚しました。

## 主な質疑

要保護・準要保護

**Q** (松島) 要保護・準要保護制度について、対象となる生徒と数は。

**A** (教育次長) 経済的な支援を行うための制度であり、現在準要保護の対象者が小中で8人だ。

幼児学園のこいのぼり

**Q** (西岡) 今年度のこいのぼりの状況は。



風におよぐこいのぼり

**A** (教育次長) 今年は24尾掲揚した。また、寄付の募集をふれあい通信・町広報でお願いしたが、今年はなかった。

運動会・修学旅行は

**Q** (山上) コロナの影響で運動会は中止となり、特に最終学年の子どもたちは思い出作りができなかった。できる範囲でいいので何か考えてあげればと思うが。

**A** (教育長) 運動会は中止が決定しており、休校による授業の遅れを取り戻すことが優先となるが、大事なことだと思うので学校現場に

また、修学旅行はどうなるのか。

伝えておく。  
また、修学旅行は予定通り実施する。

いじめ対策

**Q** (西岡) いじめ問題に対する基本的対策は。

**A** (教育長) クラスの子どもだけではなく、全職員が全校生徒のチェックを絶えず実施しており、未然に防ぐ対策ができていると考えている。

**Q** (西岡) 実際いじめを受けた当事者は、声を出して相談することができないので、アンケートで実態把握をするのも方法ではないか。

**A** (教育長) 自己主張できない子どもは、すべての教職員が把握しており、常に気にかけて、声かけを行っている。

目標申告・評価制度

**Q** (松島) 今年度の幼小中の目標について。

**A** (教育長) 幼小中の人間力を高めることを目標に、日々前向きに実践を重ねることとしている。

学校再開による  
コロナ対策の徹底は

**Q** (山上) 本格的に学校再開となり、新たな感染症防止と安全への配慮についての指導は。

**A** (教育長) マスクの着用、三密を避ける、毎朝の体温測定などの周知を徹底するとともに、小中においては養護教諭が見童生徒への対応をしっかりと整えている。



新入生と保護者だけの入学式

# 委員会レポート

5月18・19日、合同常任委員会を開催し、各課より現状・事業等の報告を受け、議論を交わしました。  
主なもののみ報告します。

## コロナ禍の対策は

### 〔総務課〕

寄贈されたマスクの活用

**Q** コロナ感染症対策の中で多くの方からマスクや防護服などの寄贈があったが、その活用状況は。

**A** マスクは妊婦・学校関係などに配布の後、5500枚ほど在庫がある。  
また、防護服はふれあい診療所で使っている。

**Q** 残ったマスクを高齢者に配布する

**Q** 直近の申請状況は。

**A** 5月15日現在で約35パーセントの申請があり、そのうちオンライン申請は20件である。1回目の振り込みは、5月22日その後毎週金

か。ことは検討しなかったのか。

**A** 年齢設定も難しく、在庫数も限られていたことから、今後に備えて有効活用をしていきたい。

### 特別定額給付金

**Q** 特別定額給付金の申請状況は。

**A** 5月15日現在で約35パーセントの申請があり、そのうちオンライン申請は20件である。1回目の振り込みは、5月22日その後毎週金

曜日振り込みを実施する。〔まちづくり観光課〕

### 町営バスの利用状況は

**Q** コロナの影響で利用者が減っていると思われるが現状は。

**A** かなり減っている。昨年とは瀬戸芸の開催で単純に比較できないが、ゴールデンウィークの10日間では、昨年の35915人に対し今年はずか519人である。



空席が目立つ町営バス

### 観光事業者からの要望書

**Q** 要望書の内容は。

**A** 町内で民宿・飲食店を営んでいる事業者からのもので、

町独自の支援策をしてほしいというものであった。〔教育委員会〕

### オンライン授業は

**Q** 各戸に配っているふれあい通信のタブレットは使えないのか。

**A** 総務課から回答がきていないのでわからないが、難しいと思う。

## 崩壊対策工事準備中

### 〔ふれあい診療所〕

（令和2年2月から4月）

- 一般入院 141人
- 短期入所 139人
- 外来患者
  - 内科 2305人
  - 外科 579人
  - 小児科 240人
- 時間外救急患者
  - 内科 61人
  - 外科 45人
  - 小児科 19人

### 〔環境水道課〕

○3月 エコアイランド

なおしま推進委員会・豊島廃棄物等フォローアップ委員会は、会議は中止、書面審査となりました。

今後、ごみ0クリーンデー、環境フェスタ等が予定されていますが、新型コロナウイルスの関係で中止または延期の可能性があるとのことでした。

### 〔建設経済課〕

○3月27日 香川県産乾

海苔品評会入賞者の表彰式を行いました。

### 県が工事を予定



横防急傾斜地の現状

横防の崩れた場所の隣接斜面は、準備が整い次第、県が工事を進めていく等、報告がありました。

### 〔住民福祉課〕

○3月2日 国民健康保険事業の運営に関する協議会

○5月18日 子育て世帯臨時特別給付金の支給対象者へ案内チラシ等を郵送

（社会福祉協議会事業）  
○子育て世代交流事業で、

保護者・子どもあわせ

て1233人が利用

○福祉有償連送で利用件数が1211件

（健康推進室）

○3月3日 みんなの健康教室

○4月23日 乳幼児健診

他  
地域包括支援センターの状況は、介護予防支援で利用者が19人。また、新型コロナウイルスPCR検査の流れについて説明がありました。

# 人事

委員さん  
よろしく

## 農業委員会委員の任命

農業委員会委員に田中正平氏を任命することに同意しました。

任期は令和2年7月20日から3年間



田中 正平氏

# 令和2年度 補正予算

## 一般会計

歳入歳出予算の総額それぞれに、160万円を追加し、35億6374万円となりました。

●歳入の主なもの  
繰越金

160万円追加

●歳出の主なもの

●急傾斜地崩壊防止対策事業

160万円追加

## 特別会計

### 国民健康保険事業

歳入歳出予算の総額それぞれに、87万円を追加し、4億5942万円となりました。

●歳入の主なもの

●保険給付費等交付金

●歳出の主なもの

●傷病手当金

87万円追加  
87万円追加

## 専決処分

●子育て世帯臨時特別給付金  
384万円追加

国の特別定額給付金を早急に支給するための一般会計補正予算（専決処分）を全員賛成で承認しました。  
（内容）

## 一般会計

●歳入

●国庫補助金

3億1874万円追加

●歳出

●特別定額給付金

3億1490万円追加

### 専決処分とは

議会を招集する時間がないときなど、町長が議会に代わって処分を行うことをいう。

町長は、次の議会でその報告をし、そして議会での報告の承認の有無を議決する。なお、副町長の選任は専決処分できない。

## 条例の一部改正

### 国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の緊急対応策として、ウイルスに感染した又は感染の疑いが生じた被保険者のうち、3日以上労務に服することができなくなった者に対し、療養を目的とした傷病手当金を支給する制度が必要となったため、条例の一部改正をするもの。

### 町税条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策で、固定資産税の軽減割合、猶予措置の手続き及び個人町民税に係る寄附金税額控除の規定、軽自動車税の環境性能割の適用期限及び個人町民税の住宅借入金等特別税額控除の適用期限を延長するため条例の一部改正をするもの。

# 質問 問う

作成しています



松島 議員

## コロナ被害者の救済を

〔町長〕 国の臨時交付金を見て検討

今回の新型コロナウイルス感染症は大正時代のスペイン風邪以来の惨事。最近のサース・マーズなどは比較にならない。

新聞報道によると高松市・東かがわ市・坂出市・まんのう町・琴平町・小豆島町・三木町・宇多津町・さぬき市は国・県の支援策に加えて独自の支援策を実施している。

この各市町の独自対策は①事業者支援対策②子育て支援となっている。当町には近年、観光客対応として、島外から移住され出店、起業の人々も多い。

これら起業家、事業者は目下売り上げゼロの状態と推察する。この状態がどの程度の期間続くのかは不明。せつかく当町に生活拠点を定め、今後の成長と発展を願望しているニューカマー（新規定住者）の方々に支援の手をさしのべてほしいと願う。

ぜひとも直島に希望と

期待を持って新規参入してくれた方々の育成と定着を目的とした救済支援策が必要だ。

また既存の在島事業者も売り上げ減等の被害を受けている。これらへの対策も重要である。さらに近年宿泊業への転業や新規起業の方々への対策も大事である。これら諸々の被害者救済に関する当局の今後の方針を問う。

**A**

（町長） 30年前の観光客は数千人だったが昨年は75万人を超えた。数軒しかなかった観光関係事業者も100軒を超えている。

1月以降のコロナウイルスの猛威で観光客は激減、全国緊急事態宣言以来国民の生活も一変。特に宿泊・飲食等の観光関係事業者は大変な苦労を強いられている。

このような中、事業者にも一人10万円の特別定額給付金を一日も早く届けたいと5月11日に申請書を発送し13日から受付

を開始し、22日には第1回目をお届けした。

その上で国の制度である持続化給付金、雇用調整助成金、セーフティネットなどを活用していただき、その後出る国からの地方創生臨時交付金が活用できれば事業者への支援も可能となる。また国では追加事業が決定されており、雇用支援、家賃支援、交付金増額など決定次第議会とも協議したいと考えている。

**Q**

町長答弁は、あまりにも総論的すぎる。私は各論を問うている。直島町は何をするのかを聞きたい。

**A**

（町長） 議会と協議した上で決まることができる状況でない。今は各論を言えない。

（松島） 今日は大勢の傍聴者が来ている。コロナに関心の高い方々と思う。この状況下で町長がどう考えているか、どんな発言をするか、注目のための傍聴と思う。



売り上げゼロの町内飲食店

当町は県内でも人口維持を継続している数少ない存在。これをさらなる人口増につなげるための起爆剤となる対策を検討して早急に臨時議会を開いてニューカマーの期待に応えていただきたい。

# 町長に

質問者の責任において



山上 議員

## 庁舎内の感染症対策は

〔町長〕 十分講じられている

現在の町内の状況は、観光客の姿をまったく見なくなりました。

一日でも早く観光客が戻りこれまでのような活気に満ちた直島になることを誰もが期待している。一方でワクチンや治療薬がない中、特に高齢者は、町外からの来島を不安に感じている人が多い。

本町は、香川県の離島である以上に岡山県とのつながりが強く、両県知事からの県を越えての往来自粛要請には戸惑った方も多くいたと思われる。4月16日の緊急事態宣言により、県知事が県民にメッセージを発信すると同時に県内のほとんどの自治体において市町長がホームページなどでメッセージを地元住民に発信した。

議会としても4月16日に提出した町長への要望書において町長自らの情報発信を求めた。

5月の広報では町長から町民に向けてのメッ

セージがあると思っただが、残念ながらなかった。

完全な終息までにはまだまだ道半ばであり、町民の多くはいまだに不安を抱いて生活している。

国・県の情報は新聞やテレビで連日報道されているが、町内の情報は、ほとんど知るすべがないことから、現在の町の産業面での影響や今後の基本的な方針を聞く。

**A** (町長) 宿泊・飲食等の観光関係事業者は、諸外国や県外からの観光客が激減し、大変なご苦労を強いられている。

緊急事態宣言の解除により経済活動も段階的に再開されていくものと思っ

ているが、今後、第2波、第3波も発生するとの憶測もあって、観光客がすぐに直島に来てくれるかどうかは未知数だ。

事業者には、一人10万円の特定期額給付金を一日でも早く届けたいの思いから、5月11日に申

請書を発送し13日から受付を開始し、22日には第1回目の送金をしたところ

であり、6月2日現在では、94パーセント強の申請受理となっている。

現在、さまざまな対策について全庁あげて検討しているところであり、事業者には国の持続化給付金、雇用調整助成金、セーフティネットなどを活用した後、国からの地方創生臨時交付金が活用できれば、支援も可能と考える。

**Q** 他自治体では、臨時交付金の決定を待たずに独自の支援策を実施しているが、町はその交付金を待つからにするのか。

**A** (町長) 町独自の施策は、観光関係以外の業種にも影響を及ぼしていることなどから、もう少し様子を見てから、交付金の決定後に議会と相談し進めていきたい。

### 庁舎内の感染症対策は

窓口業務を行う多くの

町内の事業所では飛沫防止対策として4月からアクリル板やビニールシートの設置による対策を講じている。しかし、現在庁舎内ではそれらの対策を講じていない。窓口に来る住民を守るとともに職員への感染対策の点からも重要なことだと考えるが。

**A** (町長) 町職員に對して、自身が感染源にならないよう3月下旬に自己管理の徹底及び感染拡大地域への往來の禁止、不要不急の外出を控えるなどの感染防止

策を講じている。また、感染の疑いのある者として見ることとなり、庁舎での新型コロナウイルス対策としては、行き過ぎた対応であると思っ



行き過ぎた対応か？

対策を講じるよう周知徹底を図っていることから、十分な対策は講じられていると考えている。

町民にも2月にふれあい通信で手洗い・うがい・マスクの着用などを早い段階から周知し取り組んでもらっていることから、町内ではある程度の予防対策が取られていると考えている。

なお、庁舎内にアクリル板等を設置することは、町民を感染者または感染の疑いのある者として見ることとなり、庁舎での新型コロナウイルス対策としては、行き過ぎた対応であると思っ

**Q** 住民にお願いする側の町が率先して対策を講じるべきだと考えるか。

**A** (町長) 町が率先して対策を講じているが、住民が感染症にならないよう啓発することが町の一番大事な仕事と考えている。

町が率先して対策を講じているが、住民が感染症にならないよう啓発することが町の一番大事な仕事と考えている。



宮原 議員

## 支援金 スピード感が大切

〔町長〕 国の交付金の活用を検討中

県下の市町の事業支援策は、多くの市町で上乘の支給。さらに近くの町では町単独の財源で独自の支援を行う。

直島町では現在、国の臨時交付金を財源として事業者の支援策を検討中。

そこで、その支援策がまとまり実施されるまでのつなぎとして、売り上げが減少した事業者に対して、例えば一律に10万円の支援金を給付する。

その財源については、今年度、新型コロナウイルスの要因で中止となった町民体育祭・夏まつりなどの予算を活かすのが良いと思われるが。

**A** (町長) 町独自の支援に町民体育祭などの予算を流用することとは、新型コロナウイルスがいつ終息するのか分からないために、現時点では難しい。

事業者に一人10万円の特別定額給付金を早く届けたいの思いから、早く開始した。事業者の方は、国の持続化給付金な

どを活用していただき、その後町は国の臨時交付金を活用して支援する。

**Q** 町長は個人への10万円の給付金支給を強調しているが、これは観光事業者の支援金とは別のものだ。

県下の他の市町の支援状況を調べると、直島町以外は県の協力金に乗せするか、独自の支援を行う。

何もしないのは直島町

だけだ。また、隣の玉野市でも独自の支援金を支給する。

観光事業者への支援は、スピード感が大切だ。

そのために、臨時交付金の活用による支援金に先立って、町独自の支援が必要だ。改めて早急に検討されるかお聞きする。

**A** (町長) 私も出しますと言いたい。

しかし、支援の対象者は漁師さんをほっとつてもいいのか。また、他の業種はどうかなどいろんなことを考えながら進めていきたい。



困っている今、支援を



開けたいけど開けられない

**Q** 全体のバランスをまず考えなければいけないのは確かだが、他の市町ではもうすでにやっているのでは、多くの町民は、直島町はなぜ遅れているのかと疑問に思っている。

議会にできる範囲で議案を提出すればいいのでは。

**A** (町長) 何度も繰り返すが、いろんなことを考えて議会と協議したい。他の市町の独自の支援金は国の臨時交付金をあてにした予算であると理解している。

国の第2次補正予算で、適用範囲等々のきちんとしたものが出てくる。それが決まったところでドーンといったらいいのではないかと考えている。





山下 議員



中根 議員

歩行時やバイク・自転車で走行時、路面の状態が悪く危険な所がある。

①宮浦池横の四叉路、中央の道は水道工事跡が沈み、段差になっている。

この道は通学路である上、ウォーキング等の利用者も多い。また、二輪走行時は大変危険だ。

②直島石油スタンド前から西部公民館方面へ抜け



数センチもの段差でキケン

**A** (町長) 現在、道路や側溝の修繕・改良については、災害時危険箇所基礎調査や道路ストック総点検等の調査結果に基づき、危険性が高い箇所や路面状態の悪い箇所等を優先的に、また交通量等も考慮しながら順次

### 危険箇所の修繕を 〔町長〕迅速に整備したい

町内の交通手段に対する助成は、高齢者に無料バス券が支給されているが町外への通院、買い物などで乗船する場合の助成がなく、年金受給者の大きな負担となっている。老人福祉の一環としてバス同様、乗船料にも助成は必要だと考える。

町費での助成ができません



バスには無料券が

**A** (町長) 現在、無料バス券の支給を、高齢者の福祉施策の一環として実施している。船は町外へ出るための交通手段だが、年金受給者だけでなく町民全員が対象だ。乗船料の助成を行うと診療所で受診せず、町外の医療機関で受診することが懸念され、診療所の経営も悪化の恐れがある。

さらに町外での買い物

### 年金受給者に乗船助成を 〔町長〕町としては難しい

の機会も増えることから、町内の小売業などへの影響も大きいと考える。

以上のことから、年金受給者の方への乗船料の

改修・改良を行っている。道路担当職員による見回り点検及び自治会等からの要望も踏まえて、危険な箇所等を順次補修・修繕を行っているが、対応できていない箇所もあると考えている。



乗船券にも助成を

**A** (町長) 今は考えていない。しかし、将来的にどうすれば町の医療体制に一番いいか検討したい。

県道であれば管理者である香川県とスピード感をもって協議を行い、町道であればできる限り迅速に処理をして、安全・安心な道路環境を提供できるように、担当課と一緒にその整備に努めていきたい。

助成は、町としては難しいと考える。しかし、本当に困っている方がいれば、住民福祉課に相談していただきたい。

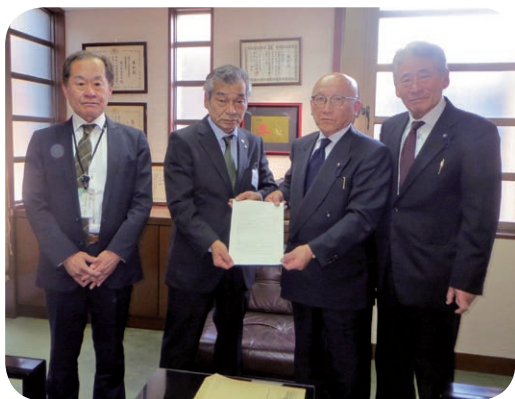
**Q** 診療所に対応できない病気の方もいる。将来的にそのような方に可能になるのか伺う。



凸凹だらけの道

町長自ら注意喚起を

# 「コロナ対策」 議会から要望書提出



要望書提出

4月7日、7都府県に緊急事態が宣言され、香川県においても4月13日に19人目の感染者が確認されたことから、県独自の緊急事態宣言が出された。

直島町もいつ新型コロナウイルス感染症の感染者が発生するかわからない状況下、4月15日に議員協議会を開催した。

町民の生命・健康を第一に考え、今何をすべきか、何をしなければならぬか、迅速かつ的確な対策を講じていただくべ

く、全議員の意見が一致したので、16日付で下記のとおり町長に要望した。

記

- 1 全町民に対し、町長自ら、あらゆる方法で感染防止のため、手洗い・うがいの励行や不要不急の外出を自粛する旨の注意喚起を行う。
- 2 来島者・帰島者への不要不急の渡島自粛要請等、水際対策の徹底を、町及び町内事業者の協力体制で実施する。
- 3 マスクの配布、各種施設（待合所含む）への次亜塩素酸水噴霧器購入及び陸・海上の各公共機関の除菌の物的支援等感染症拡大防止対策のための予算措置を講ずる。
- 4 国が個人事業者や中小企業への経済的支援を検討しているが、一般町民への助成も含め町独自の支援策を検討する。
- 5 町と議会相互が常に情報を共有し、連携を密にできる体制を整備する。

以上

## 追跡 あれ、どんぶりっとなん！

このコーナーは議員が以前に一般質問や委員会等で質問した問題がその後どうなっているか追跡してお知らせします。

### つり公園の運営再開どうする

現在の財政状況下で修繕に多額の投資をすべきでない。危険場所への立ち入りを禁止とし、レストハウス近辺での運営等で、1年程度様子を見るべき。  
(平成元年11月19日 議員協議会の総意を文書で町長に提出)

#### 経過

新年度からの運営と今後の方針は  
(令和2年3月定例会 山上議員)

#### 答弁

当面、週末3日の昼間だけ、危険場所へは立ち入り禁止、浜辺と小割周辺のみの運営とし、今後については利用状況を見て決めたい。  
(建設経済課長)

#### 経過

立ち入り禁止工事と再開の予定は。  
(令和2年5月合同常任委員会 宮原議員)

#### 答弁

4月に入ってすぐ、通路前など4カ所に立ち入り禁止バリケードを設置した。  
再開時期は、コロナ緊急事態宣言解除後、様子を見て決めたい。

#### 結果

営業は6月5日から、金・土・日曜日の午前7時～午後5時まで。料金は入園料(100円)のみで釣りができる。  
(6月1日議会運営委員会 建設経済課長)



これより先は立ち入り禁止

6月4日開催の6月定例会に、久々に多くの傍聴者が来場されました。皆さん、執行部と議員のやりとりを静かに、息を殺して聞き入っていました。ご意見をいただいた方の文章を原文のまま掲載させていただきます。



# 未来の明るい活気ある直島を願う

## 町の未来に不安感じた

町議会6月定例会には、コロナ禍に対する、町の支援、対策への取り組みに関心があり傍聴しました。結果、各議員からの一般質問に対する町長の答弁に失望しこの町の未来に不安を感じました。国の政策への批判(ただの文句)だけの答弁は、町として何も具体的な処置を行っていないことの見苦しい言い訳にしか聞こえません。具体的な発言が一つなかったと言ったことは何も考えていないと言ったことだと感じました。直島を定住の地と決めていたけどこのまま住み続けるには不安しかありません。これまで多くの方から移住に関する相談を受けてきましたが、今後は「直島には来ないほうがいい」と言うしかありません。そしてこのままでは島を離れる人も増えてくると思います。そうなるからでは遅いのです。今日は、貴重な機会をありがとうございます。

(自営業 男性)

## 「期待すべきは頼れるリーダー」

観光事業者への直島町独自支援策について●観光事業者が要望書を提出してひと月が経過した。町長は支援策を「ずっと考えている」と繰り返すだけで、「検討中」とされる具体策の説明は一切ない。事務的で感情

的な答弁は、まるでテーパーレコーダーの様だった。町民よりも役場思いの印象を強く受けた。●コロナ後の半年間、臨時議会の招集もなく、「政府の対応待ち」と責任転嫁、他力本願な論説により、希薄な危機意識と実行力の欠如を自ら露呈した。今後想定されるコロナ第2・3波、自然災害、新感染症への迅速な対応など期待できるのか?●選挙は言葉、しかし町政は行動によって評価される。質疑する議員は呆れ果て、さじを投げた。平凡施政は無能者でもできる。町民が期待すべきは、切に、困難な時代に頼れるリーダーではないだろうか。

(自営業 男性)

## 「未来の明るい直島を見せて」

数年前より観光産業は成長産業と言われてきて国をあげてインバウンドの受け入れを積極的に進めてきました。その中で直島は瀬戸内芸術祭などでも知られるようにその中心を担う島になってきています。直島が好きで移住してきた人々が観光産業に携わって盛り上げてくれています。今ここの確かなコロナ対策をとって直島を観光地としていち早く復活させなければ人口減少に歯止めがかからなくなる

先日の議会を傍聴していただいた人たちは給付金の話を町長から聞いたかったのでは

なくコロナと一緒に立ち向かう、頑張るって踏ん張って打ち勝とうという発言が町長から聞きたかったと思います。

## 「活気ある直島を願う」

現在直島ではコロナ関連の情報発信が少なく、不安があり、それを解消したく、議会を傍聴しました。コロナ関連の質問への町長の答弁の殆どは国や県が周知した内容で、直島の特性である「高齢者が多い離島の観光地」を加味した方針などの話はなく、危機感にズレを感じました。町長は町民の不安に気付き、誠意のある行動を取るつもりがあるのか、という疑問が残る内容でした。

(自営業 男性)

このままでは、町民の健康と生活や観光客と島内の経済への影響、移住を考えている人に与える印象は悪くなってしまおうと思います。小規模な自治体としての最低限の対策ではなく、これからは直島の特性とその影響を認識し、町長としての責任を果たせるような方針と施策を島内外へ発信し、安心して暮らせる活気のある直島に戻る事を願います。

(自営業 男性)

## 「さらに観光に強い直島になるため」

初めて町議会を傍聴し、町政を肌で感じた事はとても良い経験でした。

私自身、まだ勉強不足ではありますがですが率直な感想です。質問側も答弁側も次のステップになりうる施策案がなかった事が残念でした。それは単にお金を配るという事ではありません。直島の文化的な側面が国内外から高い評価を受け、直島のブランド力は上がりました。その結果、地価や人口が増えたことは否定できません。この良い流れをさらに高める為に観光産業も一役を担います。この時期だからこそさらに観光に強い直島になるための施策が聞きたかったです。その施策こそが島内事業者の救済にもなると思います。

(自営業 男性)

## 「町民に寄り添ってほしい」

余談ですが議場のレイアウトが行政側と議員側対面では対決しているように見えます。ここは真っ向からぶつからない様に円卓にしてはいいかがでしょうか?

(自営業 男性)

コロナ禍において6月定例会を傍聴させて頂きました。一般質問で3名の議員の方がコロナ関連の質問をされ、それに対しての町長の答弁を聞き、非常に「ガッカリ」しました。役場窓口の飛沫防止パネル設置に對

する考え方、観光事業者への支援に対する考え方、世論との大きな温度差を感じたのは私だけではないと思います。

もっと町民に寄り添う町政であってほしいと、切に願うばかりです。

(自営業 男性)

## 「直島で良かったと思えるよ」

「他人事か。」

先日の議会を見てそう感じました。地域住民のメッセージは届いているはずなのに。周りの自治体で国より先に政策を実施しているところはあるのに。なんだか非常に悲しくなる議会でした。みんなの気持ちバラバラになっていくようにも感じました。

コロナウイルスはいつ終息するか誰にも分かりません。そんな中で、直島町として今できることは何なのか。観光地として再び脚光を浴びるために何をすべきなのか。そこにもっとフォーカスすべきであり、町を挙げて力を注ぐべきです。

「直島に行きたい」と思ってもらえるように。「直島で良かった」と思えるような町づくり。みんなで手を取り合っただけで方向を向いて頑張れるようなそんな島であってほしいです。

(会社員 男性)

がんばりよるで



下道 聖子 さん



外まわりもがんばっています

## 毎日が濃厚すぎて

今回は「地域おこし協力隊」でがんばりよる下道聖子さんに登場いただきました。

Q こんにちは、本日はよろしくお願ひします。

下 早速ですが、いつどちらから来られましたか。

下 今年3月末に愛知県から、家族3人で引っ越ししてきました。

Q 来られる前のお仕事は何をされていましたが。

下 産前産後は自営の仕事でしたが、それまでは名古屋市のアートイベントの事務局、学校など美術教育関係の仕事をしていました。

Q 「協力隊」で直島を選んだ理由は。

下 夫が宮浦ギャラリール六区での仕事で何度か訪れるうち、人々のつながりや自然・文化など、娘にそういった原風景を体験させたいとの思いと、島

民の友人の助けのおかげで来ることができました。

Q 「協力隊」では、どのような仕事をされていますか。

下 島のイベントをまだ一度も体験できず、繁忙期の島も知らない稀有な体験をしながら、観光関係の仕事と空き家・移住対策とを複合的に取り組んでいます。

Q 働いてみて何か感じ

たことは。

下 島の人の温かさに助けられてばかりのハートフルなりフレッシュ効果で、都市生活では味わえないメリハリのある生活ができています。

Q 島での生活はどうですか。何か不便なこと、困ったことはありませんか。

下 日々なんとも贅沢な時間を経験しています。便利を追求する生活スタイルには疑問を持ちつ

つ、通販にはお世話になっていきますので、配送業者さんをはじめインフラを支えてくださる方々には感謝です。

Q これからの直島をあ

しいたい、こうなつてほしいとの思いは。

下 直島の規模だからこそできる直島モデルと言われるような実験的、先進的な取り組みが多方面で生まれるとさらにワクワクしそうですね。

Q 数カ月住んでみて、

最初に自分が思っていた島のイメージや、アレツと思つたことは。

下 まだ3カ月も経っていないのに、毎日が濃厚すぎて、数年いる感覚さえしています。様々な関係をつないでくれたり、この挑戦自体も完全に娘のおかげでもあります。

Q 最後に自己PR、報告することがあれば教えてください。

下 この勢いをサポートしてくれたい友人、町のおかげで今の生活が成り立っている、それを礎にこれから家族でどう新しい挑戦につなげていくか、じっくり見据え考えていきたいです。

下 まだまだ新参者。わからないことだらけなのでご教示いただきながら、むしろそれをいい面としてしなやかに活動、暮らしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

下道さん、本当にありがとうございました。

これが大変でしょうが島の観光、移住対策よろしくお願ひします。

がんばってください。



デスクワークも

### 編集後記

コロナとオリンピック憎きコロナのせいで東京オリンピックが異例の1年延期となった。南半球の国々ではこれから感染拡大が始まるうとしており、日本でも第2波・3波が来そう。信じられない数の死者を出した100年前のスペイン風邪と比べると、世界的な人の往来はとてつもなく容易となつている。良いか悪いか、それが今回どんな結果をまねくのか。オリンピックは世界中から一流の選手が集まるスポーツの祭典だ。日本だけコロナが終息しても意味がない。開催準備もワクチン・治療薬を開発するにも1年はかかると言われている。早く薬を開発して、東京オリンピックを中止にしないでほしい。(浜口 記)

### 広報編集特別委員会

- 議長 井下 良雄  
 委員長 山下 玲子  
 副委員長 小野 孝一  
 委員 山上 英一  
 西岡裕喜広  
 中根 清孝  
 宮原 三郎  
 浜口 敏夫